

会長挨拶



同窓会会長
堀江 裕宗
2003年3月卒業 科学技術学部
応用情報工学科
(現:知能情報システム学科)

令和元年6月1日に大学開学20周年式典が挙行され同窓会代表として出席してきました。同窓会からは記念植樹を贈呈致しました。(植樹の様子はHPからご覧いただけます。)

1期生が入学してから20年という月日が流れました。私は年に数回大学に行っておりますが、当時と比べて色々と変わっている場所があって面白いです。建物自体が増築されたり、コンビニが出来たり、学生ホールがEサポになったり。学部や学科も当時とはだいぶ違います。この20年でいろんなものが変わりました。

ただ、そんな色々と変わったキャンパス内を散策して、その場に立ってみると不思議なもので当時の色んな記憶が鮮明に蘇ってきます。そして変わったけど変わってない安心にも似た懐かしい感覚を覚えます。皆さんにも是非とも足を運んでもらい、その感覚を味わって頂きたいものです。

それと「同窓会正会員による交流会実施時支援制度」を正式にリリース致しました。詳細は同窓会ホームページに載せておりますので見て頂きたいのですが、同窓生が集まりやすい環境作りを模索してみました。

是非とも旧友や恩師を開んで交流を深めるに活用して頂けると幸いです。

2019年3月現在 正会員数 9,188名

学生部長挨拶

在学生・卒業生のキャリア形成支援について



学生部長
同窓会監事
須藤 諭
科学技術学理
建築環境学科教授

本学園では、本学園が取組むべき課題を整理し明らかにした、中期目標・中期計画「輝ける者を育むⅡ」を2019年4月からスタートさせております。総合改革プランとして「組織がバナンス、財政基盤、広報・学生募集、将来構想、教育の質保証、学生支援、地域社会貢献、学修環境整備」の8つのカテゴリーを設定し、その中に19の重要課題を中期目標としてとめています。これらの中期目標を達成するために取組む重点事項を中期計画として取り上げており、86項目に上っております。

さて、私自身は学生部長として学生支援関係の中期目標を担当いたしますが、その中身は、①学生生活安定のための支援、②課外活動の活性化の支援、③キャリア形成支援に集約されます。①の課題は、学生の健康管理や学生相談・特別支援体制の整備、奨学金等の経済的支援がテーマです②の課題は、学生会を中心とした課外活動に対する学生諸君の要望把握や、各委員会・サークル活動の支援がテーマです③の課題は、在学生のみならず卒業生のキャリアアップ支援も視野に入れており、インターンシップ制度の確立や卒業生の皆様との連携が重要テーマと考えております。特に、卒業生の皆様との連携については、本学が同窓会という組織との協力関係を強化していくことに他ならないと考えており、またそれを同窓会にも期待申し上げているところです。

本学園も開学20周年を迎えました。初期の卒業生は各企業・機関において中核的存在として活躍されていると思いますが、卒業生の皆様のキャリアアップの支援も、大学として強化して参りたいと考えておりますので、ぜひ皆様のご意見やご助言をいただければ幸甚に存じます。

管理職となり

2003年3月卒業 医療福祉学部
リハビリテーション学科 理学療法士専攻
一般財団法人 認知会 会津中央病院
リハビリテーション科 係長



長嶋 善一郎

平成15年に大学を卒業し、16年が経ちました。卒業後すぐに大学の同級生と結婚し、間もなく生まれた娘は今高校生になりました。

私は大学を卒業後、会津中央病院に就職し、関連の老健施設、有料老人ホームでの勤務を経て、3年前に理学療法部門の責任者となりました。在学中の私は良い学生とは程遠く、先方から大変お世話になりました。学生時代の私を知る方は私の立場を聞いて驚いていると思います。私は、みなさんに誇れるような経歴はありませんが、「当分の前」のことを当分の前にできる理学療法士」を目標として臨床に取組んできました。

現在の仕事は、職場管理、院内会議への参加、院内のペダグジーチームへの助言等、パソコンに向かう時間が長くなり、臨床で患者さんを見る機会が減りました。臨床でできることに寂しさを感じ、管理職として悩む事が多いですが、リハ科として質の高いリハビリテーションを提供できる上、職員の教育、仕事の効率化、職場環境の整備に力を入れています。当院のリハ科職員の数割は東北文化学園大学の同窓生です。何年か前にリハ科内でプチ同窓会を開き、大学の思い出について語り合ったことがありました。

今後は私自身が管理職として成長し、当院のリハビリテーション科、理学療法部門をさらに良い組織にできるように精進していきたいと考えています。

16年たっても変わらないこと

2003年3月卒業 医療福祉学部
リハビリテーション学科 作業療法士専攻



安倍 優子 (旧姓: 廣川)

一期生として大学を卒業し16年が経ちました。私は、宮城県職員、東北文化学園大学作業療法士専攻教員を経て、現在はフリーランスの作業療法士として活動しております。具体的には、宮城県立の特別支援学校3校と公立特別支援学校の外部専門家として、先生方を支援したり、重症心身障害児・者が対象の福祉事業所や児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護のお仕事に携わっています。また、宮城県作業療法士会から要職を受け、「学童保育と作業療法士の連携事業」の研修会の講師や実際の学童保育への訪問等にも携わっております。日によって宮城県内を東に西に移動し、自分は何者なのだろうと不思議に思うこともしばしばです。

先日、同級生が来仙し8年ぶりに再会しました。みな結婚し、子供を持ち、第一線で働くのが嬉しい年代の為、集まることもままありませんが、一緒に4年間苦学した仲間、すぐにあの頃の記憶と初心を思い出させてくれます。何年経っても同級生はいいものだなと感じました。後輩の皆さんもまたには大学時代を思い出し、同級生と語らってみてはいかがでしょう？

チャレンジ精神とチーム意識

2012年3月卒業 医療福祉学部
リハビリテーション学科 言語聴覚士専攻



石巻赤十字病院 言語聴覚士
塩野 将大

現在、私は石巻市内の病院で言語聴覚士として勤務しています。

言語聴覚士専攻一期生として入学し、卒業してから早7年が経過しました。

私の学生生活は、先輩がいなくてという環境から未知なことばかりであったため、常に同期生と結束し、目標に向かっていくといったチャレンジそのものでした。学生時代に培った「チームで目標に向かって」といった精神は、現在の自分のフィールドである医療の現場で非常に活かされています。

言語聴覚士として8日目、中堅職員となり、院内業務以外に石巻地域での嚥下障害についての啓発活動等、院外でも様々な仕事を任せられるようになりました。

院外と同職種とのイベントで、自分の後輩が同地域圏で活躍している姿を見ると、先輩としての責任を感じるとともに、微笑ましい気持ちになります。

臨床家として私はまだまだ未熟ですが、これからもチャレンジし続け、患者さんに自分の持っている力の限り還元出来ればと思っています。



大学開学20周年記念特集

今回の輝人(キラリびと)は1期生にスポットを当ててみました。

卒業して16年、様々な領域でご活躍の卒業生を紹介します。

初心を忘れずに

2012年3月卒業 医療福祉学部
リハビリテーション学科 視覚機能学専攻
視覚訓練士



佐々木 侑加 (旧姓: 横枕)

本学の視覚機能学専攻一期生として卒業し、早7年が経ちました。学生時代はアドバイスをいただける先輩がいなかったため苦学しましたが、先生方には一人ひとりに対して手厚く親身になってサポートしていただきました。また、友人たちとは、のびのびと楽しい学生生活を送ることができました。

現在は県内の総合病院に勤務しております。今でも患者さんにとって負担が少なく、正確な検査を行うにはどのようにしたらいいか、医師、看護師との関わり方はどこでいいのかなど悩むことがありますが、先輩方からアドバイスをいただきたがって誤行錯誤しています。忙しい日々の中でも、大学の先生からの「患者さんに対する大切な人と思って関わることが大切」という言葉を思い出します。その言葉を大切にしながら、初心を忘れずに患者さんに寄り添った対応を心掛けています。これからも患者さんの笑顔や感謝の言葉を励みに、眼科検査のスペシャリストとして一歩一歩成長していきたいです。

看護師の道

2014年3月卒業 医療福祉学部
看護学科
東北文化学園大学 医療福祉学部
看護学科 助手



安藤 莉香 (旧姓: 水田)

「看護師になる＝病院で勤務する」ずっとそう考えていました。もちろん本学を卒業後は総合病院に勤務しました。病院勤務はとても充実した日々でした。今でも胸を張ってそう言えます。しかしある時から看護師の働く場所は病院だけではないのではないかと、もっと看護について学びたいそう考えるようになりました。

そして今年4月、母校である本学の教員として看護師6日目を迎えました。学科の先生方にお世話になり、様々なことに携わらせて頂いています。教員になって仕事の内容・対象者はがらりと変わりましたが、先輩方からアドバイスをいただくことがありません。もちろん病院で働いていた時の経験は、私にとってかけがえのないものです。看護師の活躍の場は様々です。そのことを先輩である学生たちに伝えていければと思います。教員・研究者としてまだ駆け出しで、先生方にはご迷惑をお掛けしますが、支えて下さる方々への感謝を忘れず日々精進していきたいです。

周囲の支え

2003年3月卒業 医療福祉学部
保健福祉学科 保健福祉専攻
社会福祉法人あんなの輪 理事
わ・は・わ美里 管理者



伊藤 公善

学生時代の先生から、「大学開学20周年になるから同窓会報に寄稿してもらえないか」との電話がありました。一期生である私は20年も経つことに驚きましたが、良く考えたらワガワガ増えているし、腹も出てきたし、健康診断では再検査の項目が……。月日が過ぎるのは早いと感じつつ自分のこれまでを振り返ると、失敗を繰り返しながらも周りの人達に支えられて仕事に専念できていたのだと感じます。

現在は遠田郡美里町というあまり大きな町の事業所で勤務し、障害児者の日中活動から休日・夜間の緊急時までの対応をしています。他にも町内特産の梅を約12,000株栽培しており、近隣のスーパーのお客さんからは次はいつ入荷するのかと聞かれ、合わせがあるほどの人気商品になりました。そんな事業を支えてくれている人は数え切れず、利用者さん、ご家族、職員、地域住民、関係機関、お客さんなど、名前を挙げれば500人単位で軽く超えてしまうと思います。

若かり頃は不得意だった周囲への感謝。しかし、支えられていることに気づき、感謝することができれば、成功に結び付き、やがて自分に返ってくるということ気付いた今、愛される施設づくり、どんな障害をもっていても安心して暮らせる町づくりを微力ながら推進して参りますので、近くまでお越しの際は是非施設にお立ち寄り下さい。

楽しむ

2003年3月卒業 総合政策学部
総合政策学科
株式会社オズファーム 代表取締役



大森 祥之

私には、6年ほど前にオンラインゲームで知り合ったまーくんという人との離れた友人がいます。彼は大学生になって毎日夜更けまでゲームをしているので、心配になってちゃんと言った行っているのかと聞いてみるとう答ました。「起きたら大学に行き勉強、野球サークルの練習後、バイトをこなして帰宅ゲーム。できることは、全部卒業し」そして最後に一言「楽しむのことはつまらない」普通なつまらないことは楽しめないが人生は楽しみたい。そのための努力を惜しまない、ということで、なんと私は私に力をしました。現在は会社員です。そんなよくノルマをこなし、なんとな生活する日々。それが楽しいと言われるた……

その後、私はやりたいことをピックアップして会社法人を設立しました。経営者として仕事以外にも税金等色々な勉強が必要ですが、会社員時代に比べて収入は安定せず苦勞は多いですが、今、私は全てを楽しんでいます。大切なことを教えてくれた下手な手は親子と兄弟の離れた友人に感謝しつつ「人生は楽しみたい」という言葉を皆さんと共有できたらと思う一歩を置かせていただきます。

ちなみに、私は大学在学中はパソコンを趣味にすくぞ留年しかけた苦い経験があるのですがそれは賭け事にそんな興味はなくなりました。これはこれで全力で楽しんだ結果だと思います。もちろん真似はしない方がいいことだと思います。

開学20周年に寄せて

2003年3月卒業 科学技術学部
応用情報工学科
(現:知能情報システム学科)



小島 佳宏

開学20周年おめでとうございます。20年の学生時代に思いを馳せると、研究室での生活が色々思い出されます。

大学を卒業後、一度民間企業に就職したものの、情報技術の知見を広げるべく、大学院に進学し、再び藤木研究室へ戻って、延べ4年間の研究活動に動きました。

当時は、情報技術の変化が激しい中、2001年にApple社からiPodという製品が発売され、その操作方法などに大きな衝撃と影響を受けたのを今でも覚えています。

大学院を卒業後、また民間企業に戻りましたが、ひょんなことからApple社の共同創業者であるウォズニアク氏と御一緒する機会があり、写真を撮らせていただきました。(写真左側がウォズニアク氏)

今こそ、世界の著名な方と御一緒する機会がございいますが、大学で情報技術について学んだことが全ての礎になっています。

全ての恩師にお礼を申し上げるとともに、大学の益々の発展をお祈り致します。

生かされる経験

2003年3月 科学技術学部
通訳通訳工学科 (現:建築環境学科) 卒業
2005年3月 大分県 修験会システム研究科
生活環境情報専攻 修了
株式会社LML 埼玉放送局支店 主任



工藤 彰訓

大学開学20周年おめでとうございます。入学してから20年と改めて考えると月日が経つのは本当に早いものだと感じます。

入学時は1期生という事でサークルの立ち上げなどにも携わることができ、更に大学院進学後に大学再生となった際は学生協議会の副代表として大学存続に向け様々な活動を行いました。

在学中、それまでに経験できなかった「大きな変化」と向き合うことが出来た事は現在の私の仕事にも生かされております。

現在、私はハウスメーカー様へ水まわり住宅設備機器の販売する仕事をしておりますが、私の勤務先は2011年に5社が合併し設立した会社です。

統合前の会社から比べると扱う商材は10倍以上に増え、部署や仕組み、制度もこれまでに全く異なるものとなりましたが、そんな変化にも対応でき現在、勤務できているのも当時の貴重な経験を出来たからこそと考えます。

今後様々な事にチャレンジし活躍と言え様な報告を本誌に上る事が出来ればと思います。